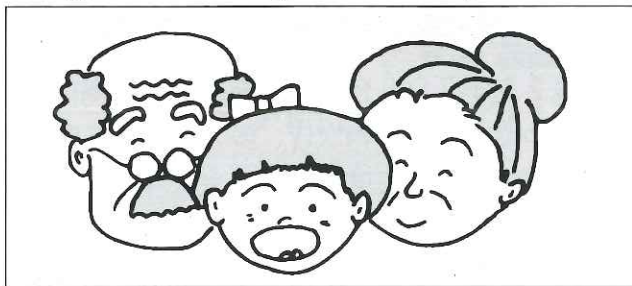


社

協

だより



夏のボランティア体験プログラム事業

開催しました!

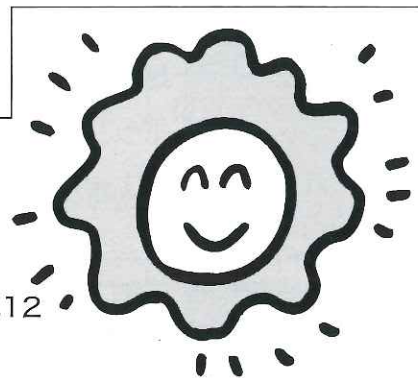


7月～8月の夏休み期間中に、町内在住の希望する中学生を対象に、『夏のボランティア体験プログラム事業』を実施いたしました。「ボランティアに興味がある!」「保育や福祉の仕事に興味がある!」「夏休みに新しいことをチャレンジしたい!」という生徒を募集したところ、計7名の方からお申込みがあり活動していただきました。今回は保育園と高齢者施設でのボランティア体験ということで、社会福祉法人山吹会山吹保育園と株式会社風翠介護よろずや梅の家(サービス付き高齢者専用住宅)にご協力いただきました。参加された生徒からは、「園児や利用者さんと触れ合うことができ楽しく、また嬉しかった」「保育・福祉に対するイメージが良い意味で変わる機会となった」というような感想をいただきました。

《参加者の声》

☆子ども達と遊ぶことで自分が知っていることを教えたりもしたけれど、子どもたちからも教えてもらい学ぶことが多々あってとても勉強になりました! 山吹保育園体験 吉田風歌さん

☆活動をする前に思っていたイメージとは全く違い、皆さんがとても明るく個性があって、お手伝いをさせていただくにあたって、とてもやりがいを感じました!緊張したけれど、温かい雰囲気の中でボランティアをさせていただいて嬉しかったです。梅の家体験 田中綾乃さん



発行:社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

〒350-0416 越生町大字越生908番地12

TEL 292-2977

FAX 292-5616



この社協だよりは再生紙を使用しています。

越生中学校福祉委員会

平成29年7月5日からの大雨災害義援金募金運動実施

平成29年7月5日からの断続的な大雨により、九州北部地方では土砂災害や道路破損が相次ぎ、多大な被害をもたらしました。

今回、越生中学校では福祉委員会を中心として義援金募金運動を実施されました。『ジュース1本を我慢して募金をすることで助けられる人がいます!』と声をかけ募った結果、多くの生徒さんが募金をしてくださり、合計33,598円のご協力をいただけたとのことで社協事務所へご持参くださいました。

ご協力いただきました募金は、福岡県共同募金会へ送金し、取りまとめたのち、義援金配分委員会を通じて被災者に配分されます。



福祉委員会委員長 小山乙羽さん

赤い羽根共同募金運動



今年も10月1日(日)より赤い羽根共同募金運動がはじまります。越生町内の募金は、約7割が越生町内に配分金として戻ってきます。越生町内の地区サロン・ふれあいいきいきサロンやボランティア団体事業の補助金などに充てられます。その他、公的財源が行き届かない、県内の福祉施設やボランティア活動の費用や、国内被災地の災害救援活動にも役立てられます。

以下の募金ボランティアの皆様や事業所(店舗)の方々と一緒に募金のご協力を呼びかけさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(順不同・敬称略)

募金運動種別	街頭募金	戸別募金	学校募金	職域募金
実施予定日	10月1日(日)駅前	10月1日(日)	10月1日(日)~	10月2日(日)
実施期間	10月2日(日)店頭	~10月31日(火)	12月31日(日)	
実施場所・エリア	越生駅・武州唐沢駅・ヤオコー越生店・ドラッグセイムス越生店	越生町内各地区 自治会内	町内小中学校3校・高等学校3校	町役場と関係機関各事務所・町内公民館等
募金ボランティア	越生町赤十字奉仕団 ボランティア陽だまり 個人ボランティア	各地区内役員、 募金ボランティア	福祉委員・JRC 委員他募金ボランティア	越生町赤十字奉仕団

募金箱設置協力	<ul style="list-style-type: none"> ラーメンショップ太郎 ヤオコー越生店 ドラッグセイムス越生店 ニューサンピア埼玉おごせ ゆうパークおごせ その他の事業所や公共機関窓口に設置協力をいただく予定です
---------	---

昨年度の「基礎編」開催に続き

越生町市民後見人養成研修実践編

が開催されています

越生町から受託し実施している「越生町市民後見人養成研修」について、昨年度の基礎編修了者14名全員の参加を得て、実践編として今年度も6月から11月までの全6回の予定で開催されています。

成年後見人としての業務や倫理観、成年被後見人の「最善の利益」とはなにか等々、実際の成年後見人活動の際に役立つ知識や技術について学んでいます。

研修終了後は、実際の市民後見人活動に従事される方や、地域での権利擁護推進の役割を担っていただくなど、その活躍が今から期待されています。



<写真上> 実践編第1日目の様子

越生東一区「地区サロン」はじまりました



地域の高齢者を中心とした方々の孤立を予防する目的で実施している「地区サロン」の取り組みが広がっています。これは、自治会や地区内のボランティアが、主体となって週1回行うお茶のみ会で、社協よりお茶菓子代の補助金を交付しております。

越生東一区では、東一区健康づくりの会とボランティアが協力し、パークゴルフと茶話会を実施する他、やまぶき公民館での茶話会やイベントを実施しています。茶話

会で談笑し、パークゴルフで歩き、集中力を使うことで介護予防にもつながると参加者の声があがっています。パークゴルフ場内の休憩スペースでは、パークゴルフをプレーしなくても、区内にお住まいの高齢者を広く受け入れています。

越生町内では、2～3人に一人が高齢者となり、高齢化が急激に進んでいます。マスコミ等で耳にする“孤立死”も身近な課題となってきています。

現在、町内29地区のうち、10地区が地区サロンを実施しています。週1回の地区サロンを活用して、ご近所のネットワークを広げませんか。少人数のサロンでも大丈夫です。「週1回、ここに行けば、知っているご近所さんがいて、話し相手がいる。」これは、高齢者にとって、かなり大きな心の支えになるのではないのでしょうか。

” 少しの心遣いで助けられる人がいます！ ”

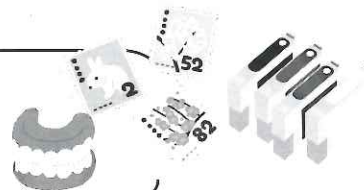
ペットボトルキャップ収集にご協力を！

今後とも残暑が続くと思われませんが、熱中症対策のためにも水分補給はしっかりとされていますか？この時期は空のペットボトルがご家庭に増える季節かと思えます。ぜひ、ご不要になったペットボトルのフタは捨てずに、社会福祉協議会事務所までお持ちください！集まったペットボトルキャップは、NPO法人エコキャップ推進協会



へお渡しをし、再生プラスチック原料として換金したものを、発展途上国の医療支援やワクチン支援のために使用されたり、障害者支援、子ども達への環境教育等、様々な社会貢献活動に使用されます。他にも、社会福祉協議会では下記の収集を受け付けております。ご協力の程よろしくお願

- ☆使用済みまたは未使用切手 ☆書き損じはがき
- ※使用済み切手は消印も残して切り取ってください。
- ☆使用済みインクカートリッジ ☆不要入れ歯



活躍中！ボランティアさん紹介コーナー

配食ボランティア 森村信子 様

調理が困難な独居または高齢者のみ世帯の方にお弁当をお届けする給食サービス事業。毎週木曜日は町内在住のボランティアさんが配食を行っています。配食ボランティアさんにはお弁当をお届けし世間話等しながら、「体調に変化はないか」等確認もしていただいております。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか？

勤めを辞めて新しく何かを始めようと思って広報を見たところ“配食ボランティア募集”の記事が載っていました。一緒に暮らしていた母が、来客があるとても嬉しそうにお茶飲み話をしている姿を見ていたので、高齢者の方のお宅を訪問してお話をすることが出来るボランティア活動にとっても興味を持ちました。『母のように喜んでくださる高齢者の方が大勢いるのではないかと感じ、この活動を始めてみました。』

Q. 活動をして嬉しかったエピソードを教えてください！

新規の利用者さんのお宅に何うと、その方は亡くなった母の親しい友人の方でした。その方も私のことをよく覚えていてくださって「あの頃は楽しかったね♪」と写真を見ながらお話しされ、母の知らない一面も教えてもらえたりして、とても嬉しかったです。また、他の利用者さんも様々なお話をしてくださるのでとても楽しく、ボランティア活動をしていなかったら出会うことのできなかった方とのめぐり逢いが楽しみです♪



《お礼》

平成29年7月1日発行社協だよりにて“車椅子1台”のご寄付と、平成29年8月1日発行のボランティアセンターだよりにて、“ご自宅で余っている冷蔵庫”のご寄付について依頼をさせていただきましたが、町内有志の方からご寄付をいただくことが出来ました。多数のお問合せをいただきまして誠にありがとうございました。お寄せいただきました物品は生活困窮世帯の方にお届けし、利用させていただいております。ご協力ありがとうございました。